

# ☆女子ソフトテニス部 部活動だより☆ 第8弾

## 女テニのみなさんへ

今回は、ある方がおっしゃっていた言葉を紹介します。今でも心に残っています。それは…

### 「目の前に落ちているゴミをまたぐような人間になるな。」

目の前のゴミに気付かないならば、百歩譲って「しょうがない」（本当ならば、そのゴミに気付く目配り・気配り、視野の広さは必要ですが）。

でも、目の前にゴミが落ちているという問題が、あると気付いているにもかかわらず通り過ぎるのは、人としてあるまじきことだと。

学校の2階中央廊下の真ん中には、鉢植えがいくつも並んでいますよね。毎日、花びらが落ちてしまうのですが、それを黙って拾っている人を見ると、「すてきな人だなあ」と思います。何もゴミに限ったことではありません。

目の前で重い荷物を持って、困っている人がいる。目の前で、泣いて悲しんでいる人がいる。目の前でいじめられている人がいる。

どんなことでも、目の前で起こっていることに対して「ほうっておけない」と思える人は、やっぱり心優しい、情が深い人だと思います。私たちは、みなさんがそんな人であってほしいと思います。

前回のメッセージに、「最後に大事なものは人柄」と書きました。自分にできることはいかな、なんとかしてあげたいな。そういう人間味がある人の周りには、必ず人が集まります。もし、自分が困ったときには、その周りの人たちが助けてくれるはずです。そんな、お互いを気にし合える、助け合える関係は、すてきです。

目の前のゴミをまたがない。

これを、自分の心にとめて、生きていきたいですね。